

妊娠前～子育て家庭向け／ ライフステージ別サービス一覧



色の事業は市の特色ある取り組みです！

(R.3.4現在)

	妊娠前	妊娠	出産	乳幼児期(0歳～5歳)	就学期	
					小学校	中学校
手当・助成	<p>不妊治療費助成事業</p> <p>不妊症治療費助成事業</p> <p>30万円補助</p>	<p>上限10万円</p> <p>母子健康手帳の交付</p> <p>商品券 2万円</p> <p>プレママスマイル応援給付事業</p> <p>商品券 妊婦支援給付金</p> <p>現金10万円</p> <p>初回産科受診料助成事業</p> <p>妊産婦健診等に係る交通費・宿泊費の助成</p>	<p>出生届</p> <p>未熟児養育医療</p>	<p>子ども医療費助成事業</p>	<p>R6.1から高校生世代までの通院・入院医療費、食事療養費を全て補助しています。</p>	
健診・訪問		<p>妊婦健康診査(14回)・多胎妊婦健康診査(追加5回)・超音波検査(1回)</p> <p>妊婦歯科健康診査(1回補助)</p> <p>パレナイタルビジット事業(※)</p> <p>8か月アンケート</p> <p>面談(希望者に)</p> <p>妊婦訪問(希望者等に)</p>	<p>産婦健康診査(2回)</p> <p>新生児聴覚検査</p> <p>産後ケア事業</p> <p>赤ちゃん訪問(全てのご家庭に)</p>	<p>乳児一般健康診査(医療機関にて3回)</p> <p>4か月児健康診査</p> <p>10か月児健康診査</p> <p>1歳6か月児健康診査</p> <p>3歳6か月児健康診査</p> <p>5歳児健康診査</p> <p>フツ化物塗布事業</p>	<p>就学を見据えた健診で、お子さんの困り事や発達に関する相談ができます。教育委員会からのお話もあります。小学校就学に向けて、個別相談につながることも可能です。</p>	
予防接種	<p>成人の風しん予防接種費用助成</p> <p>RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチン費用助成</p>			<p>定期予防接種(ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児肺炎球菌、結核、五種混合、麻しん風しん、日本脳炎、水痘)</p> <p>全額補助</p> <p>おたふくかぜ(2回)</p> <p>三種混合・ポリオ(就学前)</p> <p>1,000円補助</p> <p>小児インフルエンザ(生後6月～中学生まで)</p> <p>骨髓移植後等における予防接種費用助成(20歳まで)</p>	<p>定期予防接種(二種混合、子宮頸がん)</p> <p>全額補助(県内3自治体のみ)</p>	
相談・教室		<p>パパママ教室(希望者に)</p>		<p>虫歯予防教室(年1回)</p> <p>はっぴースマイル教室(各園ごと)</p> <p>食育教室・親子料理教室</p> <p>幼児教室(月1回)</p> <p>きらきら育児相談(年3回)</p> <p>子育て相談会(年5回)</p>	<p>小中学校での健康教育・食育指導</p>	

健康推進課だけでなく、社会福祉課や学校教育課といった関係各課の事業も網羅的に示している「子育てサポートブック」も作成しています。健康推進課の窓口もしくは右の二次元コードからご覧ください。



母子健康手帳交付時にお配りしています。



津久見市の事業

津久見市では、安心して子育てができるよう独自の母子支援事業を行っています。(健康推進課の事業のみ記載)

ご不明な点がございましたら健康推進課までお知らせください。

健康推進課 ☎ 0972-82-9523

【妊娠を望んでいる方へ】

- 不育症治療費助成
- 不妊治療費助成

大分県の不妊治療費助成事業とは別に、津久見市では2つの助成事業を行っています。

【出産子育ての給付金】

- 妊婦支援給付金
- プレママスマイル応援給付事業



詳細はこちらの
二次元コードへ



【初回産科受診料助成・妊産婦交通費等】

すべての妊婦さんを対象に、初回の産科受診料の一部を助成しています。

また、要件を満たした場合、近隣に産科医療機関のない妊産婦の妊産婦健診や出産に係る交通費・宿泊費を助成しています。

【産後ケア事業】

助産師等の専門職から、お母さんの心身のケアや育児のサポートを受けられます。



詳細はこちらの
二次元コードへ



【母子健康手帳の交付】

産婦人科で妊娠の確定診断がでたら、母子健康手帳交付を受けましょう。その際、面談を行います。

【赤ちゃん訪問】

赤ちゃんのいるすべてのご家庭を保健師が訪問しています。

【大人の風しん予防接種の助成】

成人の風しん予防接種の一部を助成します。

詳細はこちらの
二次元コードへ



【妊婦歯科健診】

妊婦さんや生まれてくる赤ちゃんの歯の健康を保つため、市内の実施医療機関にて妊婦さんを対象とした歯科健診を実施しています。

【ペリネイタルビジット事業】

出産前あるいは出産後早めに、かかりつけの小児科医を作っておいて、産後の育児不安をすこしでも早く解決しようという事業です。

【RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチン定期接種】

妊婦の方がワクチン接種することで、母体から胎児に抗体が移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。

■対象 接種時点で、**妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方**
※対象の方には個別でお知らせを送付いたします。

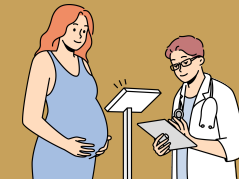
詳細はこちらの
二次元コードへ



【妊婦健康診査・産婦健康診査・新生児聴覚検査】

津久見市では安心して出産・子育てができるよう、妊産婦に対する健康診査費の一部を助成しています。

また、聴覚障がいを早期に発見し、支援につなぐため、新生児聴覚スクリーニング検査費用を助成を行っています。



詳細はこちらの
二次元コードへ



【子ども医療費】

お子さんの健やかな成長とご家庭の経済的負担軽減のため、病気やケガなどで医療機関に入院・通院したときの保険診療内の医療費(入院時の食事料含む)を高校生世代まで助成しています。

【未熟児養育医療】

からだの発育が未熟なまま出生したお子さんが特別な医療が必要な場合、母子保健法に基づく医療の給付を行い、保護者の負担を軽減する制度です。

詳細はこちらの
二次元コードへ



乳幼児健診

お子さんの成長・発達を確認し、子育ての悩みや不安も相談できます。お子さんの体調の良いときに受診しましょう。感染症等の状況により、日程の変更がある場合があります。

健康推進課 ☎ 0972-82-9523

※対象者には個別通知を郵送します

4か月児健康診査

【受付時間】 個別通知

令和8年 4月9日	5月14日	6月4日
7月2日	9月3日	10月1日
11月5日	12月3日	
令和9年 1月14日	2月4日	3月4日

10か月児健康診査

【受付時間】 13時30分～13時45分

令和8年 4月9日	5月14日	6月4日
7月2日	9月3日	10月1日
11月5日	12月3日	
令和9年 1月14日	2月4日	3月4日

1歳6か月児健康診査

【受付時間】 13時15分～13時30分

令和8年4月16日	8月6日
10月8日	12月10日
令和9年2月18日	

3歳6か月児健康診査

【受付時間】 13時15分～13時30分

令和8年5月21日	7月16日
9月17日	
令和9年1月21日	3月11日

5歳児健康診査

【受付時間】 13時15分～13時30分

令和8年4月23日	6月25日
8月20日	10月22日
12月24日	令和9年2月25日

子育て相談会

令和8年6月17日	臼杵市ちあぼーと
8月19日	臼杵市ちあぼーと
10月21日	津久見市民会館
令和9年1月20日	臼杵市ちあぼーと
3月10日	津久見市民会館

子育て相談会の詳細な内容は、対象者に連絡します

健診会場は津久見市民会館です！



【乳児一般健康診査】※事前に医療機関に要予約
県内の契約医療機関で乳児健康診査受診票を利用して、乳児健康診査が公費で受けられます。
・1か月児 ・3～6か月児 ・9～11か月児
契約医療機関がわからない場合は健康推進課にお問い合わせください。

【フッ化物塗布事業】
1歳6か月児健診時にフッ化物塗布(希望者のみ)とフッ化物塗布受診券を配布しています。
◇配布枚数：2枚(1度塗布したら3～6か月空けてください)
◇有効期限：3歳のお誕生日前日まで ◇費用：無料
◇持ちもの：フッ化物塗布券、フッ化物塗布を受ける子どもの保険証

令和8年度 市内 検診・フッ化物塗布等実施歯科医院一覧

※市外局番はすべて【0972】です

歯科医院名	電話番号	住所	フッ化物塗布	妊婦歯科検診	歯周病検診	歯科医院名	電話番号	住所	フッ化物塗布	妊婦歯科検診	歯周病検診
秋岡デンタルクリニック	82-8228	千怒6045-3	○	○	○	立川和人歯科医院	82-8668	宮本町6-11		○	○
上杉歯科医院	82-8420	中央町19-10	○	○	○	つかもと歯科医院	85-1182	中央町760-53-3	○	○	○
加納歯科医院	83-5756	中央町4-7	○	○	○	ふかえ歯科医院	82-1002	中田町1-4		○	
川野歯科医院	82-5354	中央町23-3	○	○	○	増村歯科医院	82-9288	井無田町2-14	○	○	○
近藤歯科医院	82-2430	宮本町19-14		○	○	近藤中央歯科医院	82-8148	中央町8-31			

子どもの予防接種

子どもを感染症から守るために、予防接種を受けましょう。

津久見市では、子どもの任意予防接種について一部助成をおこなっています。

2026年4月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVDP(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVDPの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳
不活化ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生ワクチン ロタウイルス (数回ワクチン)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン 五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生ワクチン BCG	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生ワクチン MR (麻疹風しん混合)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
生ワクチン おたふくかぜ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン 日本脳炎	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
mRNAワクチン / 不活化ワクチン 新型コロナ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン / 生ワクチン インフルエンザ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
不活化ワクチン 髄膜炎菌	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
渡航ワクチン	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

定期予防接種は定められた接種期間であれば **無料** で接種できます



- 【注意事項】**
- ・大分県内の契約医療機関であれば同様に接種できます
 - ・体調の良い日に接種しましょう
 - ・予防接種前に説明書を読んでおきましょう
 - ・母子健康手帳を持っていきましょう

- 【日本脳炎特例対象者】**
- ・平成7(1995)年4月2日～平成19(2007)年4月1日生まれかつ4回の接種を受けていないかつ20歳未満

生ワクチン mRNAワクチン

定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期の予防接種の対象年齢 ↔ おすすめ接種時期(数字は接種回数)

任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。 任意接種の接種できる年齢

同時接種 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。

国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/> **VPD** 検索

© NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会



津久見市では、任意予防接種にかかる費用を一部または全額助成しています！詳しくは左側の二次元コードをご参照ください

- 【接種間隔における3つのルール】**
- ① 注射生ワクチンから次の注射生ワクチンの接種は27日以上間隔をあける
 - ② 同じ種類のワクチン接種を複数回受ける場合、決められた間隔を守る
 - ③ 発熱や接種部位の腫れがなく、体調をみてかかりつけ医に相談し、接種する

